

令和 1 年 10 月 29 日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
会長 小川郁男 様

施設名 志木瑞穂の里
氏名 森田 茂雄

研修会報告書

研修会名	第2回看護部会研修			
日時	2019年10月24日(木)10:00～15:00			
会場	県活210セミナー室			
講師	彩の国東大宮メディカルセンター 皮膚・排泄ケア認定看護師 藤屋聡子			
参加人数	51名			
研修委員 (氏名・施設名)	森田 茂雄 (志木瑞穂の里) 川村 江美(介護老人保健施設 翔寿苑) 丹野 実佐子(高齢者ケアセンター ゆらぎ) 名久井 瞳(戸田市立介護老人保健施設)			
研修会のテーマ	高齢者の皮膚のアセスメントと外用薬の選択			
研修会の評価	アンケート回収枚数	51 枚	3. グループワーク 4.3 / 5	
	1. 研修内容と目的の一致	4.3 / 5	4. 研修会の進め方 4.5 / 5	
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5	～総合評価点～ 18 / 20
		②	/ 5	
③		/ 5		
④		/ 5		
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)			
	【研修の事前準備に関して】			
	1. 申込用紙に、申込者の施設名を記入する場所に代表連絡先が記入する項目がなかった為、申込終了の連絡を施設の連絡先を一つ一つ調べる必要があった。今後は、申込用紙に施設名と代表の連絡先を書ける項目を記載する。			
	【研修の運営に関して】			
	1. 受付の際、当日参加申込者用の名札(予備の白紙名札)があるとよかった。今回用意した名札はすべて名前が記されたものであったため、次回の研修では予備用に白紙の名札も用意することとする。			
【研修内容に関して】				
1. 研修内容は聴講者が求める研修内容と今回の目的が4.3点、講義に対する評価も4点、研修会の進め方も4.5点、総合評価点も18点とおおむね好評価である。事例をもとにグループワークが展開され、事例も聴講者の現場で身近に感じられたものであった。介護職も一緒に参加した内容であったため、一部介護職側からの意見として、「専門用語がわかりづらかった」という意見もあったが、全体的には写真を有効に使用しており、興味深い内容でこの研修を機に「クッションの使い方を考」という前向きな意見も挙げられたため、看護職だけでなく介護職にとっても有意義な研修であったと考える。看護職側からも、「外用薬とドレッシング剤」について勉強できたことは、「実践で使用できる」と前向きな意見が多く挙げられたことから、今回の研修は看護職・介護職にとっても、有意義な研修内容であったと考える。次年度においても、ぜひ今回の研修内容を開催していければと思う。以上				

* アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。